

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
② 宿題用テキストの基本問題A	
③ 宿題用テキストの基本問題B	
④ 宿題用テキストの復習問題	
⑤ 週テスト復習用を解く。	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A	

発展メニュー (☆) …他の教科の宿題が終わって、さらに余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題B	

担当より一言

今回は、気象観測について学習しました。
天気は、入試でも時事問題と絡めて出題されやすい分野です。

温度計の読み取りについては、メモリの10分の1まで目分量で読むことに注意をしましょう。これは、実験器具の読み取りの際の共通のルールです。

百葉箱については、正確に温度を測るための工夫と理由をセットで覚えましょう。理由を問う記述問題も頻出です。

気温の変化については、晴れの日は変化が大きく、最高気温が1番高くなること経験としてもわかると思います。しかし深夜から明け方にかけては、くもりの日の方が気温が高いことも多いことに注意しましょう。そして、それはなぜなのか、理由も言えるようにすることが大切です。

雲については、まずは天気記号とそれぞれの天気の雲量を覚えましょう。雲の種類については積乱雲と乱層雲は知識として出てきますが、それ以外が出てくる場合は問題文からの読み取りとなることがほとんどです。

湿度については、将来的には計算問題として解けるようになる必要がありますが、今の段階では乾湿球湿度計から湿度を読み取れることが目標です。

湿球のほうが温度が低くなる理由とつなげて覚えてしまえばイメージが付きやすいはずですよ。